

村上 常雄 議員

(一括質問方式)



- ①大洲市立幼稚園・保育所等の再編について
- ②スポーツ施設の管理について
- ③市立大洲学園の民間移管について

地域の声への対応について

問 施設の老朽化等を理由に、南久米保育所を廃止する方針と聞いているが、保護者からは存続を望む声が多く寄せられ、地域では署名活動を行っている。このような声にどのように応えるつもりか。

答 南久米保育所については、施設の老朽化が課題となっていること、利用者数が定員を割り込んでることなどから、第2期大洲市立幼稚園・保育所等再編計画（案）では、第1期計画に引き続き、保育に係るニーズの変化などを見ながら、同一の小学校区にある最寄りの大洲こども園への統合を検討するとの方針としています。

本市では、第2期計画を策定するにあたり、パブリックコメントを実施し、次期計画案を市民の皆様にお示しをして、広く意見を伺うこととしています。

自治会を中心に、南久米地区の皆様が一体となって、子育て世帯への支援や地域の自立、活性化に向けて取り組まれていることに対し、心より感謝を申し上げます。市としては、地域の皆様の施設存続への思いもしっかりと受け止め、また、市民の皆様から寄せられた意見も踏まえながら、子供の成長を優先して考える「こどもまんなか」の視点に立って次期計画を仕上げていきたいと考えています。

この計画により、施設の今後について一定の方向性を定めることとなりますが、施設の再編・統合等には、利用されている児童の保護者は言うまでもなく、地域の皆様に理解いただくことも重要ですので、今後、それぞれの地域においてきめ細かな説明会を開催していきたいと考えています。

構成市町の協力について

問 八幡浜・大洲市地区運動公園陸上競技場では、市職員や市内高校生等のボランティアの協力により天然芝が整備されたが、大洲市以外の構成市町からの協力は得られないのか。

答 本来、八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合規約第3条第2項の運動公園の設置、管理及び運営に関する事務は、組合の共同処理する事務であることに基づき、八幡浜市ほか構成市町に協力を依頼するところですが、芝生苗の植栽作業は、雨天を避けながら短期間で実施する必要があることから日程調整が極めて困難であり、ほかの市町に協力を依頼することで、かえってスケジュールに遅れが生じかねないと判断し、今回は本市だけで作業を行いました。

今後、多くの人手が必要になる作業など、内容によってはほかの構成市町への協力依頼についても検討していきます。

民間移管に対する保護者の理解について

問 市立大洲学園を社会福祉法人へと移管し、当該法人による建て替え支援をすることで、施設的环境整備を行うこととなっているが、保護者の方々には移管方針に対して理解をいただいているのか。

答 この度の民間移管に当たり、保護者説明会を昨年10月と本年9月の2回開催しています。昨年の説明会において、公設民営から完全民営になることへの不安や、施設建て替えに係る実効性についてなどの意見がありました。中でも、民間移管に伴い、運営者が代わるのではといった不安に対しては、本年7月23日に開催した市立大洲学園の民間移管に関する事業者選定委員会において、全会一致で、現在の指定管理者である社会福祉法人大洲育成園が民間移管先事業者を選定されたことで、保護者の皆様も安心されたものと認識しています。

また、建て替えについては、国の補助金の採択状況に左右されるものの、実現可能性の高い計画が整ったことから、本年、保護者の方々へ説明を行い、理解いただけたものと考えています。

今後も引き続き利用者、保護者の皆様に対して丁寧な説明に努めていきます。